

第1回中区まちづくり懇談会での意見への対応案

参考資料 1

No.	該当ページ	委員等	意見	対応案
1	1	石丸氏	中区外のエリアから来て中心部の活性化に向けた取組を行う主体と区民との連携に対する考え方があればわかりやすい。	御意見を踏まえ、次期アクションプラン冒頭のP1の1-(4)「計画の推進に当たって」の中で、区民等が区外の主体とも連携しながらアクションプランの推進に向けて取り組む旨を記載します。
2	8～19	石丸氏	一つの取組がいろんな項目と関係性を持っているので、関係する取組が分かるような形にしてはどうか。	次期アクションプランでは「具体的な取組」を達成するための「取組」を新たに掲載します。御意見を踏まえ、それぞれの項目に関連する取組については再掲として掲載することで、一つの取組がいろんな項目と関係性を持つことが分かる形にします。
3	8、11	末松委員	現行プラン策定後、5年経過した社会環境の変化等を踏まえた新たな視点の取組を入れてはどうか。	現行アクションプラン策定後、中区で新たな施設が開業した（する）ことや、新たに開始した取組があることから、基本方針①-(1)に「サッカースタジアムや広島城三の丸等の新たなまちなかの資源を活用したイベントの開催」や基本方針②-(2)に「わが街ヒストリア」などの取組を新たに掲載します。
4	8	末松委員	夜の暗い川辺空間を安全に回遊できるような施策が必要ではないか。	川辺空間を含む安全な公共空間の確保に向けては、地域からの要望等を踏まえた街路灯の設置や町内会等による街路灯設置に対する補助金交付等に取り組んでおり、御意見を踏まえ、基本方針①-(1)の「安全に回遊できる歩道・川辺等に向けた街路灯の設置・維持管理」の取組を掲載します。
5	8	石丸氏	中区はインバウンドが集まるが、外国人を対象とした視点、取組はないのか。	外国人に対する事業については、主に本庁において実施するものであることから、次期アクションプランには掲載しない方針です。ただし、アクションプランに掲載する取組については、区民だけでなく中区を訪れる方も対象に推進するものであり、主に基本方針①-(1)の取組を実施する際に、外国人観光客を対象とした視点を取り入れながら進めていきます。
6	9、16	石丸氏	(次期アクションプランの終期である) 2030年は地球的にもいろんな課題を抱えていると思われるが、環境への取組が抜けているのではないか。	本市では、環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定している「第3次広島市環境基本計画」に基づき各行政分野において個別具体的な施策を展開しています。このうち、中区においては花づくり活動や環境美化活動に取り組んでおり、これらの取組は、基本方針①-(2)や基本方針④-(1)に掲載します。

No.	該当ページ	委員等	意見	対応案
7	16	中田委員	小・中学生の育成に関する事業があまり含まれていないため、入れていただきたい。例えば、子育て応援アプリで小学校や中学校へ上がる際の情報も入手できるようになればよい。	区において各種地域団体の活動を支援しており、その中には子ども会や青少年健全育成連絡協議会への支援も含まれることから、御意見を踏まえ、基本方針④-(1)に「各種地域団体の活動の充実」を新たに掲載します。 また、子育て応援アプリは、主に乳幼児の子育てを行う母親・父親を対象としているものですので、それ以外の事業で小・中学生に関する情報発信の充実を検討するなど、今後の施策展開を検討する際の参考とさせていただきます。
8	—	中田委員	中区には多くのハコモノがあるが、非常に使いにくいので、例えば、サッカースタジアムで子ども会のイベントや中学校のサッカー大会を開催するなどといった活用をしてほしい。	地域・企業等による活動の充実のために公共施設活用の利便性を向上することは重要だと考えていますので、今後の施策展開を検討する際の参考とさせていただくことに加えて、公共施設等の活用に関する相談・支援は引き続き行っていきます。
9	—	高山委員	広島城や平和記念公園など外国人が集まる場所で、中区でのイベント等のPRをすれば、外国人の滞在時間延長や、宿泊者増加につながると思うので、中区がリーダーシップを取って進めてほしい。	外国人を含むより多くの方に中区でのイベント等のPRを行うことは中区のにぎわい創出のために重要だと考えていますので、今後の施策展開を検討する際の参考とさせていただきます。なお、現在でも中区のイベントを本庁の観光担当部署や他の区役所とも情報共有するなど、本庁や他区とも連携しながらPRをしており、外国人の滞在時間延長や宿泊者増加にもつながっていくものと考えています。
10	—	末松委員	城下町広島を活用したまちの魅力を向上するに当たっては、ボランティアガイドの活用も必要だと思うので、本庁だけではなく区も一緒に取り組むことを入れてはどうか。	ボランティアガイドの充実については、本庁において実施するものであることから、次期アクションプランには掲載しない方針ですが、区において歴史を活用したにぎわいづくりを推進するに当たっては、例えば、イベント開催時にボランティアガイドを配置することで、より城下町広島の歴史や魅力が伝わることを期待できるため、今後の施策展開を検討する際の参考とさせていただきます。
11	—	山口委員	流川などでのパトロールの際に、10代と思われることに対して声掛けも行えば、こどもも親も安心できると思う。	パトロール時に声掛けを行うことは、中心部の安心・安全なまちづくりのために重要だと考えていますので、引き続き、意識してパトロールを実施するなど、今後の施策展開を検討する際の参考とさせていただきます。